

氏名 小田光康

自己 PR

私の自己 PR としては、1) ジャーナリズム・メディア表現の実践とメディア教育システムの構築での実績がある。2) 国際経験が豊かで、多様な人々とのコミュニケーション・結びつきがある。3) NPO 法人の設立運営やボランティア活動で指導力がある、という 3 点が挙げられます。

プロフィール（略歴）

米ジョージア州立大学経営大学院修士課程修了・東京大学大学院人文社会系研究科修士課程修了。デロイト・トゥシュ会計事務所、共同通信社、ロイター通信社などを経て、現在、ライブドアメディア事業部報道センター長補佐（ジャーナリスト教育・調査報道担当）、早稲田大学スポーツ科学部非常勤講師（スポーツ・ジャーナリズム論担当）、特定非営利活動（NPO）法人「森の響」理事長。

2000 年 4 月から 2004 年 3 月まで、東京大学社会情報研究所国際ジャーナリズム研究プログラム（newslab）スタッフ（ジャーナリズム理論研究・ジャーナリスト教育の制度開発。同研究所教育部にて、情報メディア論、マスコミュニケーション理論、ジャーナリズム演習（I）担当）。2005 年 4 月からデジタルハリウッド大学客員教授（メディア表現概論担当）・明治大学情報コミュニケーション学部兼任講師（メディア表現ゼミ担当）就任予定。

1999 年、国内の会計監査問題の英文報道で、米ニューヨーク市シルーリアン記者協会賞と米ニューヨーク州公認会計士協会賞を受賞。共著書に、「論争いま、ジャーナリスト教育（東京大学出版会、2002 年）」「実践ジャーナリスト養成講座（平凡社、2003 年）、単著に「スポーツ・ジャーナリストの世界（文化出版社、2004 年 11 月発刊予定）」

王子製紙（株）、（有）大泉美術、帝人（株）や医師・臨床心理士らと協働し、環境教育、森林保全とその有効利用、森林セラピーを行う NPO 法人「森の響」を設立し、理事長に就任。現在は神奈川県丹沢山中の王子製紙三保山林にて森林保全や活動拠点の整備などで活動中。来年度から、都内のサポート校の引きこもり生徒を受け入れ、林業作業や木工作業を通じた環境教育・セラピー活動を行う予定。

氏名 小田光康

教育委員になった際に取り組む課題（箇条書き）

1.（課題）児童・生徒へのメディアリテラシー、メディア表現についての実践教育の推進

その解決方法：

「活私開公を目指す」。マスメディアが発信する情報を批判的に読み解く能力を身に付け、インターネットを利用したメディア表現力を養い、教室で学んだことをウェブ上で習うことで、自己と現実社会との関係を認識すると同時に、異質な他者との対話を通じて民主主義的な相互理解を深める。

「ゴールデン・ルールを守る」。自分にされたくないことは他人にしないというこのルールは、リアルな空間においてのみだけでなく、インターネットの掲示板や電子メールといったバーチャルな空間でも重要なマナーであることを認識させる。

2.（課題）NPOや自治体、地域住民との協働による環境・モノ作り教育の推進

その解決方法：

「環境教育の推進」。水源涵養、土壌保全、地球温暖化ガス固定、心の癒しといった森林に関する環境教育を実施し、自然保護・保全の大切さや、山村と都市の有機的なつながりの重要性について学ぶ。

「モノづくり教育の推進」。人工植林地で、遊歩道の整備や間伐材を利用した遊び道具作り等の木工作業の実体験を通じて、他人との共同作業による自主的・実践的な態度を育成する。同時にボランティア活動の意義や理解を促進する。さらには、のこぎりやナタといった刃物を使うことで、その危険性や有用性の両面を学ぶ。

康 光 田 小 名 氏

（ 書 横 ） 理 由 （ 募 應 員 委 育 教 ）

「 力 トミ求知況の識 てう識たとき あ報、し、が
め ツコがの状と意 し習知しこ生 色の か デでい
求 表 ネの解そる人共 とでり調るの。特私 活 メ野た
に 己 一と理がいと公 策活ま強すたるた、を、分い
人 自 タ者互々て人、 応生つを入人がきつ を一育伝。
本 「ン他相人し、り。対実、と導はなてつ 績 シ教手た
日、イなたの践でわるのを育こにれつつし の実 ラ各をし
の に、質じく実方関いへと教す育こに培襲 の テのり募
く っ後異通多、一のて況こたか教。とが踏 O リ境く応
多 一命のを、し。とれ状だい活等るこ区を N P A 環づに
で の革外ンが得い域らなん置に中える野ム、ィてみ員
会 質 T 内 ョる会た地迫う学を踐・考す中テ学デし組委
社 資 I 国 シいをがやがよで点実等と成、ス大メそ仕育
際 する。て一て法いい識の室重し初だ醸はシやで、る教
国 いるじケれ技言あ認こ教に用を要を私育関区現あに
て あ通ニらとはれ再 はと応育必力 教機野表徴め
れ がを ャめ識とふの 私こを教がる る道中ア特た